

第2号

広報

木もれ陽

木もれ陽の由来： 利用する方をやさしく照ら包み込む陽（ひかり）



創作活動作品 水彩画 「ムンゴジバケ」

社会福祉法人秋田県社会福祉事業団

由利本荘地域生活支援センター

ごあいさつ



由利本荘地域生活支援センター
センター長 高橋 ひろみ

早いもので、昨年四月に開所し沢山の方々にお世話になりながら二年目を迎えております。

瞬く間の一年間ではありましたが、生活介護事業をはじめとする日中利用サービスや地域に居住し社会生活を送られている指定共同生活援助事業の充実、また、そのサービスとを繋ぎ、支える相談事業は、常に利用者を中心に家族、スタッフ、関係機関との連携のもと「気軽に立ち寄れる相談室を目指して」まいりました。

地域における課題やニーズは多種多様で、まだまだ未熟な私どもには学びの毎日ですが、センターをご利用いただいている皆様や、サービスを必要としておられる方々に安心して来所していただける地域の資源として、スタッフ一同思いを一つにして頑張っ

てゆきたいと思っております。
今日も、利用される方々の笑い声と子どもたちの元気な声が館内に広がっています。今後ともご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます



由利本荘地域生活支援センター
水林事業所
所長 渡辺 聖子

昨年、名称も新たに再スタートしてから早くも一年が過ぎ、地域生活を支える難しさを実感しながら新年度を迎えました。

水林事業所は宿泊型自立訓練、生活訓練、就労継続支援B型、共同生活援助の4事業を展開しております。一見別々の事業に見えますが、其々の持つ機能を適切に提供することで、利用者の皆さんの地域生活の継続に少しでも役立てることができないのではないかと考えております。

若く元気だった利用者の皆さんも高齢や身体機能の低下等の状況がみられるようになってきました。そのような方々への支援を充実させる為に、今年度、常勤の看護師の配置やグループ職員の増員を行いました。また時代の流れから、様々な障害特性に対応できるような職員のスキルアップにも力を入れたと考えております。利用者の皆さんの思いに沿いながら、地域生活を支えていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

事業だより / Part1

生活介護事業

二年目を迎え、現在は三十四名の方が利用登録しています。4月からは支援学校の卒業生三名が仲間入りし、十代から八十代まで幅広い年齢層の方々がお互いに支えあい、協力しながら楽しく活動しています。

希望の多い入浴サービスの他、個々の要望や特性に合わせた創作活動（塗り絵・貼り絵、ビーズ等）や生産活動（フルーツキャップ作業、灯籠のバリ取り作業）、身体機能維持のための運動、自分で選んだコーヒーマップで飲み物を楽しむコーヒータム、利用者さんの希望に添って実施する余暇活動（買い物やドライブ外出、外食、コロニー体育館でのレクリエーション、調理体験）など行っています。

最近の活動では季節の行事に合わせた貼り絵の顔抜きパネルの作成に取り組んでおり、完成した後、皆で満面の笑みで写真を撮り楽しいひと時を過ごしました。

職員一同、本人の思いや意思をくみ取ることが出来るよう日々取り組み、選ばれる施設、「また来たい」と思ってもらえるようなサービス提供を目指していきます。



ほんの数か月前の写真を見て「今にくらべると表情が幼いなあ。成長したんだなあ」と驚くことがあります。

日々伸びていく利用者さんに負けないよう、職員も学びの心を忘れずに一緒に育っていかねばいいなと思っています。

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

事業だよ!! Part2



由利本荘市チャレンジデーに参加しました。当日は暑い気温の中、水林球場までの道のりを、ゴミ拾いをしながら移動し、多くのゴミを集めました。水林球場では、サッカーやバドミントンなど各スポーツを行うなどし、住民総参加型のスポーツイベントを楽しみました。

水林事業所

今年も「大泉寺山町内会大運動会」に参加しました。当日は、グループホームや自立生活者の皆さんより多数の参加があり、各競技への参加や応援など、頑張る姿や楽しむ光景が多く見受けられました。

今回の運動会では、日頃よりお世話になっている町内会の皆さんとの交流を図ることが出来た1日となりました。



事業だよ!! Part3

相談支援事業 由利本荘市障がい者基幹相談支援センター

地域の中で気軽に相談できる場として、どなたでも住みやすい地域づくりを目指して取り組んでいます。

6月には、関係機関の連携や支援の質の向上のため、市内の事業所を対象に「強度行動障害の理解と支援について」をテーマに研修会を開催しました。

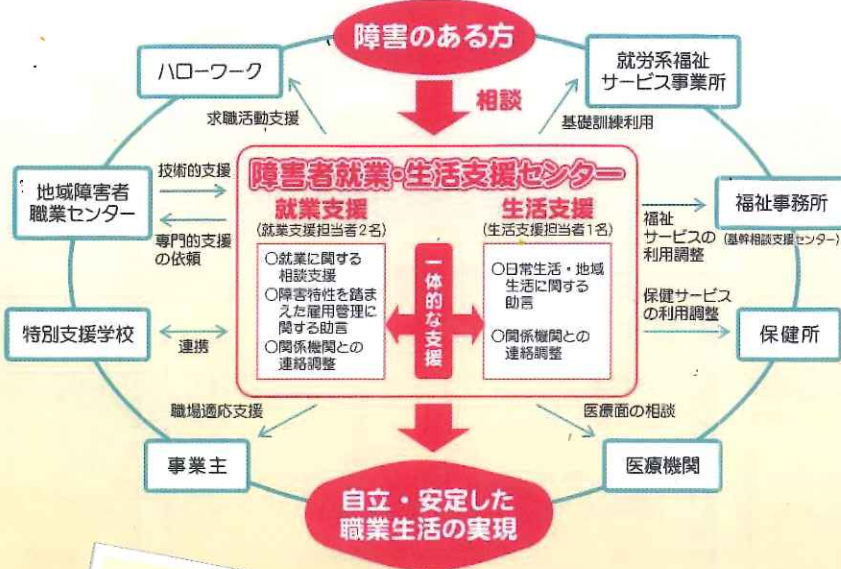
気軽に相談に立ち寄っていただけるよう、サロンや相談会も開催しています。

権利擁護に関するご相談もお受けしております。

お困りのことがありましたら、ご相談ください。



支援のネットワーク



私たちは「働きたい!」と考えている方の「仕事」と「生活」の支援を行っています。仕事と日常生活で悩んだときに「あ、イーサポート行こう!」と思っていただける身近な相談所になれる事を目標に日々頑張っています。また、相談だけではなく、パークゴルフや加茂水族館見学、外部講師を招いて心の健康作りの勉強会等の余暇活動も毎年計画して楽しんでいます。

今年は何をやるのかとただ今計画中です。

由利本荘・にかほ圏域障害者就業・生活支援センター (EISupport)



ありがとう

◇マックスバリュ西目店様

節分に恵方巻やお菓子、ジュースなどをいただきました。

(水林事業所)

◇佐藤 千代様

ご寄付をいただきました。車イスを購入して、利用者さんの日々の活動に利用させていただいています。

(水林事業所)

◇朝日 紀予様

週1回程、ボランティアとして余暇活動のお手伝いをしていただいています。

(生活介護事業)

○苦情解決処理状況

平成28年度の苦情受付件数は1件で、サービス内容(職員の接遇)に関するものでした。

ご指摘いただいた苦情については、相談助言のもと解決済みです。

おくやみ

グループホーム清和B生活介護事業

高橋 寛さん

平成二十九年一月十日逝去

謹んで冥福をお祈りいたします。

各事業の連絡先

◆由利本荘地域生活支援センター 由利本荘市二番堰25番地1

『生活介護事業』『児童発達支援事業』『放課後等デイサービス事業』

TEL:0184-25-7077 FAX:0184-25-7102

『相談支援事業』『由利本荘市障がい者基幹相談支援センター』

TEL:0184-74-3614 FAX:0184-44-8579

『由利本荘・にかほ圏域 障害者就業・生活支援センター (E-Support) 』

TEL:0184-44-8578 FAX:0184-44-8579

◆水林事業所 由利本荘市調練場1-1

『宿泊型自立訓練事業』『自立訓練(生活訓練)事業』『就労継続支援B型』

『指定共同生活援助(グループホーム)事業』

TEL:0184-23-3551 FAX:0184-23-4660



ホームページ

ホームページはこちらから⇒

あとかき



残暑お見舞い申し上げます。

今年度も由利本荘地域生活支援センター広報誌「木もれ陽」を発行しました。

各事業の「事業だより」から、当事業所での事業や行事について周知いただく機会となれば幸いです。今後もセンターの近況等、皆様にお知らせ出来るよう、広報活動の充実を図って参りますので、よろしくお願いいたします。